

# #2310

富士展望シリーズ(9)

## 御坂 黒岳

実施日 二〇〇七年七月二二日(日)

天候 曇り時々晴れ

リーダー 吉田 正之

参加者 吉田正之、島本陳重 計二名

費用 電車 新宿→河口湖 往復 四五二〇円 バス

河口湖駅→天下茶屋 七三〇円、河口湖自然生活館→河口湖駅 四七〇円

交通費 計五七二〇円

コースタイム 河口湖駅(九時三〇分)→四〇分バス→天下茶屋(一〇時一〇分)→二〇分御坂山(十一時二〇分)御坂峠(十一時五〇分)→十二時二〇分昼食黒岳(十二時一〇分)→二五分すずらん峠(十三時四〇分)破風山(十三時五五分)新道峠(十四時十五分)→二五分林道(十四時五五分)河口湖自然生活館(十五時五五分)→十六時七分バス→河口湖駅(十六時四〇分)→十七時七分)

前日が雨模様で、二二日(日)に急遽変更したため、九名の参加申込者が二名となった。

河口湖駅に着くと青空も見え始め、バスで天下茶



屋へ。太宰治が三ヶ月滞在して「富士百景」を書いた宿で、資料館がある。登山口の「富士には月見草が良く似合う」の石碑を見て、急坂を清八峠への分岐の尾根まで登り、御坂山に着く。うぐいす、ほととぎすの さえずりが賑やか。ここ



一旦下る。戦国時代に山城のあった屋もある。ここで昼食。黒岳への登り。ブナの大木が目立つ。釈迦ヶ岳ぎると一等三角点のある黒岳に到着。からも富士は白い雲の中で残念。の山並みは見える。記念撮影。

の下りで、霧が晴れ河口湖の素晴らしい全景が現れた。ハクサンフウコ、シモツケ草、ノカンゾウ、あやめ等が咲き乱れているお花畑の中を新道峠に到着。ここから尾根道と分かれて、河口湖に向け下る。三〇分程で林道に出て、さらに二〇分ほどで別荘地帯に入る。河口湖畔まで歩き、観光客用のバスに乗り河口湖駅へ。

富士山は顔を見せませんでした。尾根道からの河口湖の鳥瞰は素晴らしく、野鳥のさえずりやブナ林、可憐な花々を楽しむまずまずの野次喜多二人旅でした。

(記・吉田 正之)

